

令和4年度 味美炭ぬり祭2022 活動報告

事業名	味美炭ぬり祭2022	担当者名	野村 幸司
開催日	令和4年8月20日	参加者数	約200人

【目的】

- ① 多くの人に白山神社・味美炭ぬり祭を知って頂くこと。
- ② 味美の歴史への理解を深めること。
- ③ 「炭焼き貫太郎物語」を通して祭りの由来を伝えていくこと。

【結果】

- ・予想以上に来場者があった。
- ・来場者の反応が良かった。理由として、ご祈祷やパネルに積極的に参加して下さったから。
- ・祈願パネル 子どもの手形はよかった。愛着を持つことができた。
- ・祈願パネル ボランティアの誘導が功を奏した。
- ・ボランティア 真面目だが子どもへの対応にやさしさを感じた。

【反省】

1 企画内容

① ご祈祷

- ・宮司が説明する時間が長かったので、短くする。神社の説明に限る。蚊の対策が必要。
- ・50人ぐらいの参加があった。



② 炭ぬり体験

- ・中学生ボランティアの説明、ポップ、導線は問題なかった。
- ・炭米の配布は、継続したい。



③紙芝居

- ・複数回実施したことで聞く機会が増えた。ストーリーに母親たちが感激していた。
- ・イスの設置は良かったが、ビニールシートは活用されなかった。実施場所は適切だった。



④祈願パネル

- ・子どもの参加が多かった。
- ・紙芝居と重ならない程度に、「左義長で炭になって来年の炭めり祭で使われる」ストーリーをアナウンスすると



2 実行委員会の在り方

- ・早い段階でキャップを決めて、担当で議論。それを実行委員会に持ち寄る形が良い。
- ・ラインでより積極的にメンバーに向けて情報発信をする。



3 SNSの活用

- ・申し込み時にWeb予約特典があるよ良い。スタンプなど。

4 日程

- ・案として4月桜まつり 8月今年と同時期 10月ハニワまつりを考えている。

味美ネットワーク研修会資料

